

東北地方 1 か月予報

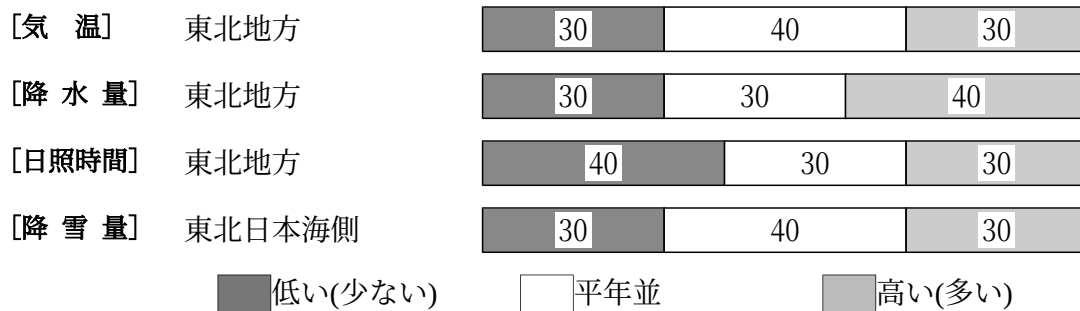
(12月19日から1月18日までの天候見通し)

平成21年12月18日
仙台管区气象台発表

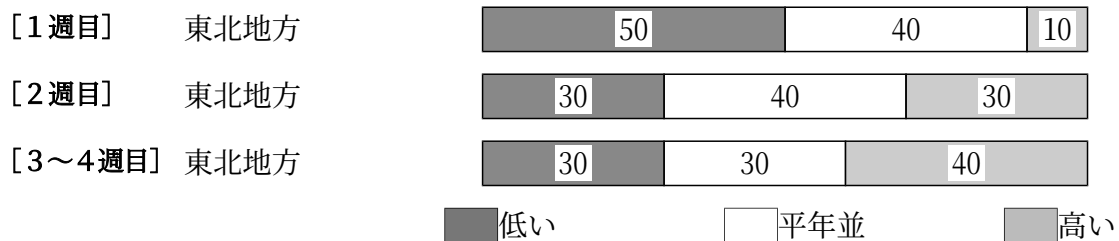
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
週別の平均気温は、1週目は低い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 12月19日(土) ~ 1月18日(月)
1週目 : 12月19日(土) ~ 12月25日(金)
2週目 : 12月26日(土) ~ 1月 1日(金)
3~4週目 : 1月 2日(土) ~ 1月15日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は12月25日
3か月予報: 12月24日(木) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温(°C)		
					1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	-0.4	143.0	53.8	216	0.4	0.0	-0.9
深浦	0.7	106.4	32.1	107	1.7	1.3	0.3
むつ	-0.5	91.3	73.2	139	0.4	0.0	-1.0
八戸	-0.1	44.1	129.7	85	0.8	0.3	-0.6
秋田	0.9	132.3	45.0	116	1.9	1.4	0.5
盛岡	-1.1	54.0	115.1	95	0.0	-0.5	-1.6
大船渡	1.7	41.0	144.5	10	2.6	2.2	1.3
宮古	1.3	44.7	155.5	31	2.2	1.8	0.8
仙台	2.5	33.5	147.4	30	3.5	2.9	2.0
石巻	1.5	33.6	160.8	0	2.5	2.0	1.0
山形	0.5	80.0	86.5	140	1.6	1.0	0.0
新庄	-0.4	194.5	39.8	247	0.5	0.0	-0.9
酒田	2.5	169.5	40.6	117	3.5	3.1	2.0
福島	2.4	42.4	131.6	65	3.4	2.8	1.9
若松	0.2	84.9	74.1	163	1.1	0.5	-0.2
白河	1.0	30.2	156.4	47	2.0	1.4	0.6
小名浜	4.4	42.8	185.6	0	5.3	4.9	4.0

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にしてください。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2～+0.7	74～97	98～105	77～105
東北日本海側	-0.2～+0.6	91～106	94～109	84～110
東北太平洋側	-0.2～+0.7	58～98	97～105	66～101

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.7	-0.5～+0.8	-0.4～+0.7
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.4～+0.8	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.8	-0.5～+0.9	-0.4～+0.8

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 21 年 12 月 18 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (12 月 19 日～1 月 18 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目 (12 月 19 日～12 月 25 日) :

気圧の谷や寒気の影響で東北日本海側は雪の降る日が多いでしょう。東北太平洋側はおおむね晴れますが、期間のはじめは内陸を中心に雪の降るところがある見込みです。

なお、期間のはじめは、冬型の気圧配置が強く、大雪となるおそれがあります。

平均気温は低い確率が 50% です。

2 週目 (12 月 26 日～1 月 1 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目 (1 月 2 日～1 月 15 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受ける見込みです。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

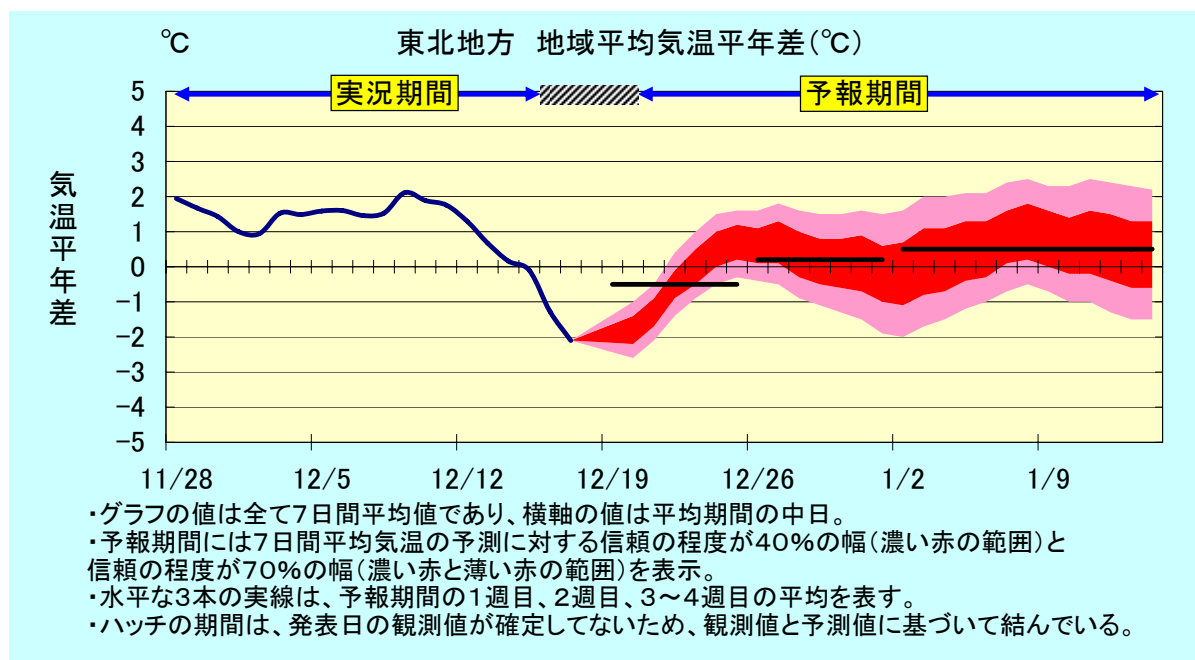
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	4.6 日	1.1 日	1.2 日	2.3 日
東北太平洋側	17.3 日	4.3 日	4.3 日	8.7 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目は平年を下回り、2 週目は平年付近、3～4 週目は平年を上回る予想となっている。

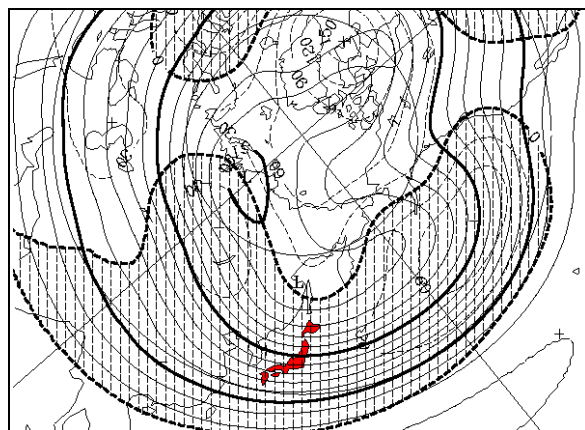


3. 1 か月平均と 1, 2 週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

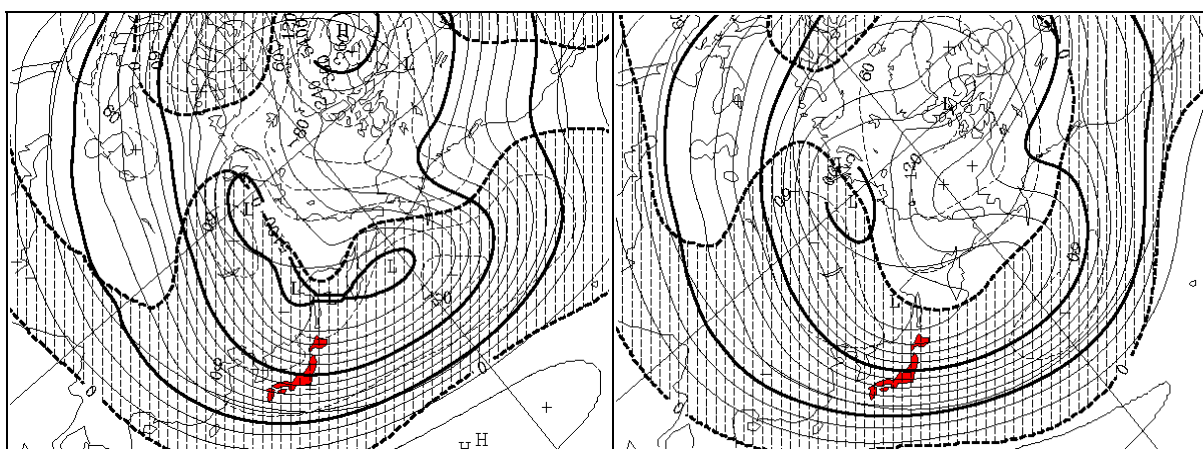
1 か月平均: 高緯度帯が正偏差、中緯度帯が負偏差で、中緯度帯に寒気が南下しやすいパターン。しかし、850hPa 気温偏差予想図(図略)では、北日本や東日本は正偏差となっており、強い寒気が流れ込み続ける予想ではない。

1 週目: 日本付近を含む中緯度帯は広く負偏差で、寒気が南下しやすいパターン。期間の前半を中心に強い寒気の影響を受ける見込みだが、週間天気予報資料からは、期間の後半には強い寒気の影響は次第に解消すると予想される。

2 週目: 日本付近を含む中緯度帯は広く負偏差だが、850hPa 気温偏差予想図(図略)では、平年付近となっており、平年程度の気温が予想される。



1 か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は 1, 2 週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1 週目平均 500hPa 予想天気図

2 週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

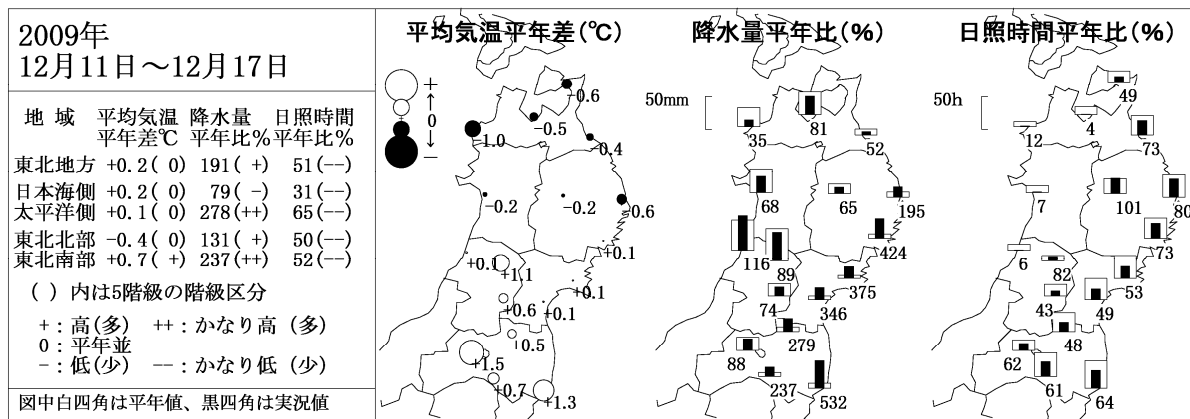
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近 1 週間 (12 月 11 日～12 月 17 日) の天候の経過

期間のはじめは、低気圧や前線の影響で曇りや雨となった。期間の中頃からは、強い寒気が南下して冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では曇りや雪となり、東北太平洋側ではおおむね晴れた。なお、16 日から 17 日にかけて山形県で大雪による農業被害や交通障害などが発生した。

期間の前半は気温が平年を上回ったが、期間の後半は平年より低く経過した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)